



3月の園だより

令和5年3月1日

目黒区立中央町保育園園長

～1年間ありがとうございました～

あたたかな風が時折吹くと、春はもうすぐそこと待ち遠しく感じられます。

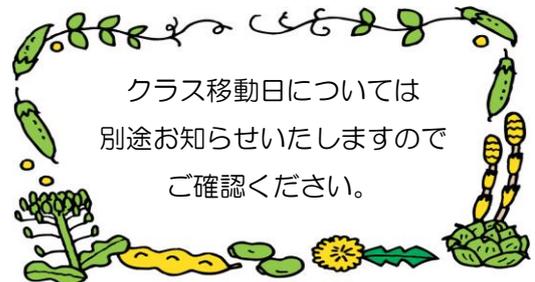
先月は、5歳児が五本木小学校1年生から招待を受けて展示会へ出かけました。「ちょっと緊張するな」と話していた子どもたちですが、作品が飾られている会場へ一歩入ると芸術の世界へすぐに引き込まれていました。「次はあそこに行きたい」「もう一回あのライトの部屋見たいな」とエスコートをする1年生にも積極的に話していました。そのあとも、教室でランドセルを背負ったり、鉛筆を握ってみたりと「1年生体験」をしましたが、終始自分の言葉で気持ちを伝える姿が誇らしく思いました。春からはいよいよ小学校へと巣立っていく子どもたちですが、自分で話をするだけでなく人の話を聞く力も育っていることを改めて感じます。ふと園庭を見ると、1、2歳児が自分の言葉にならない思いを色々なやり方で伝えています。保育士は一人ひとりの思いに寄り添うように耳を傾け、受け止めながら根気よく向き合っています。きっと5歳児もこれまでたくさんの人たちに気持ちを聞いてもらってきたからこそ今の姿があるのだと感じました。

今年度も残すところ1か月となりました。5歳児だけではなく、0歳児、1歳児、2歳児、3歳児、4歳児もそれぞれに友達とたくさん遊んで、元気に過ごす中で心も体も大きくなりました。4月にはみんなで一つ大きいクラスに進級します。日頃の保育にご理解とご協力をいただいている保護者のみなさまに感謝し、新たな生活を子どもたちと心待ちにしながら保育を進めていきたいと思ひます。



今月の予定

- 卒園式
- お別れ遠足
- クラス移動日
- お別れ会
- 避難訓練・身体計測



クラス移動日については
別途お知らせいたしますので
ご確認ください。

ひな飾り製作の紹介



もみじ組(3歳児クラス)

ハサミを使い自分で顔の形に切りました。着物の色も選び巻き付けて貼りました。



いちよう組(4歳児クラス)

折り紙で座布団を折り着物にしました。頭の飾りは、二つとも自分で切りました。



ぼぶら組(5歳児クラス)

全部自分で作りました。一年間楽しんできたお花作りで華やかな着物にしました。

つくし組 (0 歳児クラス)

入園当初は慣れない環境に泣いて抱っこを求めている子どもたちも、今では毎日笑顔で入室しています。友達のそばに行き“きたね”“きたよ”と顔を合わせて笑ったり、好きな玩具に手を伸ばし口や手で触れたり、打ち鳴らしてみたり、いろんな『ためす』を楽しんできました。たくさんの『はじめて』に出会い泣いたり驚いたりすることもあります。安心した環境の中で“なにかな”と気になったものに興味を持ち、自分から触れてみようやってみようとしています。心も体もたくましく成長しました。



たけのこ組 (1 歳児クラス)

一年間散歩をたくさん楽しんでできました。初めは、みかんと亀を見て保育園に戻る短いコースを何回も繰り返し歩き、慣れてきたら徐々に距離を長くしていきました。今では、「でんしゃきたー」「ねこいるかなあ」と景色を楽しみながら歩いています。秋からは緑地公園まで行き、追いかっこやかくれんぼなど遊んでから帰ってこられるほど体力もついてきました。今では「〇〇ちゃんと手を繋ぎたい」と友達と散歩に行くことを楽しみにしている姿もあります。さらに距離も伸ばしながら楽しく歩いていきたいと思っています。



どんぐり組 (2 歳児クラス)

友達と一緒に遊ぶことが楽しくなりました。時には気持ちがぶつかり自分の思い通りにならない経験もたくさんしてきました。焼肉屋さんごっこで、並べた具材をひっくり返す場面一つでも「自分でやりたかった」「だってこげちゃうから」と気持ちがすれ違ってしまいます。そんな時は、保育士が「新しいお肉もってこようか」と間に入ると「じゃあこれは使っていないよ」と気持ちを切り替え再び一緒に遊び始められるようになりました。楽しく一緒に遊ぶ中で友達との関わり方を知り、心を大きく成長させた一年です。



もみじ組 (3 歳児クラス)

友達と誘い合って遊ぶことが増え、3~4人で遊びを楽しめるようになってきました。お医者さんごっこでは「わたし、お医者さん」「わたしも」とお医者さん役が人気で、患者役の子が来ると「わたしがやる」と患者の取り合いになることもあります。保育士が「どうする」と間に入ると少し考えて「じゃあ先いいよ」と譲ったり、交代したりしています。自分の思いを伝えながら相手の思いも聞けるようになり、友達と一緒に遊ぶためにはどうしたらいいか保育士と一緒に話し合うことで友達との関わりが深まってきています。



いちよう組 (4 歳児クラス)

友達と一緒に楽しさを感じて遊ぶことを繰り返し仲間関係を深めてきました。毎日楽しんでいる氷鬼では、鬼決めを同じ子が何度もやっている「僕だってやりたいんだよ」と言う声が上がりました。そして「本当は僕だって」と次々と気持ちを表すことができました。すると、子ども同士で「じゃあじゃんけんして鬼決めする人決めようよ」と相談して決めていました。遊びの中で、自分の気持ちと相手の気持ちの違いに葛藤しながら関わり方やルールを守るから楽しいという経験を重ね皆で遊ぶ楽しさを感じています。



ぽぷら組 (5 歳児クラス)

春には、ボールが当たると立ち直れなかったりボールの取り合いになったりすることが沢山あったドッジボールですが『対戦する保育園に勝ちたい』という目標に向かいどうやったら勝てるか皆で思いを伝え合ってきました。待ちに待った先日の試合では「ボールキャッチが上手な子を前に出そう」「最後に中に入れる元外野はボールを回そう」など自分たちで考え協力する子どもたちの姿に成長していました。負けた相手チームを思い、見送り際には「また遊ぼうね」と声をかける思いやりの心も育っています。

